

ゆのまえ 議会だより



No. 25
平成31年
2月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

子どもの視点に大きな可能性



P2 特集 1
生徒36人がまちづくり提案

P4 特集 2
本町に3つの驚き／議会改革 第2弾

P6 本会議
11年ぶりの会期延長

P8 一般質問
一般質問と関連質問のW論戦本格化

P14 委員会

P16 全員協議会

P18 研修

P19 一部事務組合

P20 住民の声

今号の写真

子ども議会で一般質問に挑む生徒達です。
事前学習会の成果を町政に届けました。

生徒36人がまちづくり提案

第2回子ども議会を開催



真剣に質問する子ども議員

▼湯前町の子ども達が、まちづくりの提案や質問をする「子ども議会」が12月20日、町議会議場で開かれました。湯前中学校3年生全生徒が「議員」になって、班ごとにテーマを定め質問を行いました。

▼子ども議会は、議会改革の一環として平成29年度から開いており、今回が2回目。昨年度の子ども議会で出た提案が、早速、町政に反映されたものもあります。

▼町からは鶴田町長や各課の課長らが出席。倉本議長が議事を進行しました。町議会と同じ方法で子ども議員が登壇し、議員・教職員・町民らが傍聴しました。

事前学習会を開催 議員が質問を指導

▼子ども議会の予行練習となる「事前学習会」が11月28日、湯前中学校3年生教室で行われ、議員9人が出席しました。

▼子ども議員が班毎に質問内容を発表した後、議員も各班にそれぞれ加わり、「もっとポイントを絞って」、「まずは現状を正確に確認して」など、積極的に質問の仕方を指導しました。

▼子ども議会当日、担当した班の発表を心配そうに見つめる議員の姿がありました。



中学校での事前学習会

【1班】少子化対策

- ① 子育て支援金
- ② 高校生までの医療費無償化

【2班】観光

- ① インスタ映えスポット
- ② 町をきれいに
- ③ 積極的なアピール

【3班】住環境

- ① 町営住宅の改修、空き家リフォーム
- ② 用水路に蓋を
- ③ 高齢者向け住宅の建築

【4班】産業振興

- ① ふるさと納税
- ② 風刺漫画の活用
- ③ 葉っぱビジネス

【5班】教育

- ① 学校トイレの洋式化

【6班】高齢化対策

- ① これからの介護
- ② 高齢者の就業支援
- ③ 災害時における高齢者の避難方法

町の未来を語る学びの場



町の課題を大いに語った子ども議員

本町に3つの驚き

町長3期12年の光と影

①町長が不出馬を表明

次の町長に託す

▼鶴田町長は、金子議員の一般質問で次の町長選挙に出馬しない意向を答弁しました。この不出馬の答弁は、住民や議会に驚きを与えました。



3期を振り返る鶴田町長

本町が抱える問題

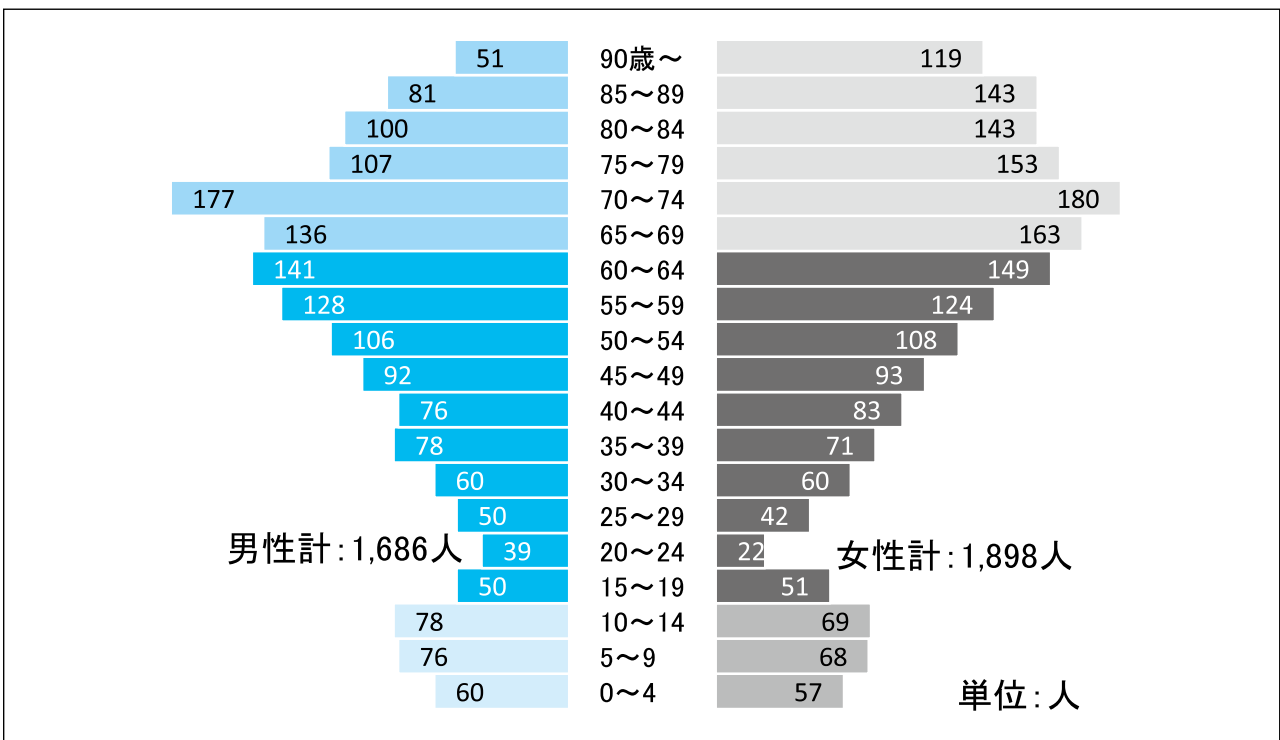
○空き家数は、平成30年度調査で200戸を超えた。高齢者だけの世帯、空き家予備軍も400戸近くあると推測。

○生産年齢人口(15歳～64歳)は、平成30年10月1日現在で1753人、8年間で約500人の減少。これに伴い商工会や農業の事業者は年々減少。高齢化も進み後継者対策が直近の課題。

○20代から40代の人口減少に伴い、年間の出生数は平成25年度以降30人を下回っている。平成28年度が17人、平成29年度が18人、そして平成30年度見込みはなんと14人という驚くべき事実。

○高齢化率は県ワースト6位の42.6%。(昨年10月1日現在)

○役場、小中学校、水道管などの公共施設や公共設備、湯楽里は、これから老朽化対策が本格的に始まる。



2020年湯前町人口ピラミッド(出典) GD Freak!

② 農業公社の

飯田理事長が辞任

経営方針待見えないまま

理事長は 再び町長に

▼昨年6月から湯前町農業公社の理事長を務めていた飯田氏が、「一身上の都合」を理由に、12月末の任期途中で辞任しました。

▼公社の理事長は1人目が町長、2人目が長谷氏(前副町長)、3人目が昨年6月に選任された飯田氏でした。議会は公募による広い人選を平成27年9月から提言していましたが、町長は公募によらず町長裁量で、平成30年6月に飯田氏を採用しました。

▼飯田氏の採用にあたり、議会は「公社経営は新しい理事長に任せて、行政はできるだけ関与しない」ということを、全員協議会(平成30年5月21

日)で合意していましたが、1年を待たず公社理事会で解任となりました。

公社8期連続 赤字の責任

▼8期経営してもなお公社の方向性は定まらず、組織も不安定な状態です。

▼農業公社は一般社団法人です。次の町長選挙に関わらず、今の理事長(町長)は理事や農業生産者と協議して、早急に経営方針を示さなければなりません。

▼基金9000万円は年度末で約1500万円まで減りました。この基金は過疎債で借り入れています。2024年度まで返済が続きます。

※農業公社の特集は、平成30年8月号に掲載しています。

③ 副町長が12月に辞職

役場要職を歴任



▼「一身上の都合」を理由に、2期目途中(昨年12月)で副町長を辞職しました。

▼長谷氏は昭和50年の役場採用から、総務課長や副町長

農業公社の理事長などの要職を歴任。

▼長谷氏は1月19日に次期町長への出馬を表明しています。

議会改革 第2弾

更なる議会力と議員力の向上へ

▼一昨年に続き、1月臨時議会で議会改革調査特別委員会を発足しました。

継続的な議会改革の仕組みをつくります。

▼議会力・議員力を更に高めるため、議会の課題を検証し、

委員長 味岡議員
副委員長 金子議員

11年ぶりの会期延長

2度の議案修正

平成30年12月定例会は、6日から14日まで9日間の日程で開かれ、5人の一般質問の後、平成30年度の補正予算、条例改正などを審議しました。一般会計補正予算の不備を議会が指摘し、調整に時間を要することから、12月定例会の会期を6日間延長しました。また、11月5日と1月21日に臨時会を開催しました。

議案修正 ①

九州大会の支出を 保留

社会体育活動全国 大会等出場補助金 61万6000円

▼12月定例会で、空手・弓道・野球の九州大会・全国大会に出場する旅費の一部を補助する提案がありました。そのうち、野球(湯前クラブ)の九州大会は熊本市で開催のため、現状の補助金要項の対象外であることを議会から指摘

し、これを削除して可決しました。

▼それまでの要項規定は、九州管外(沖縄県を含む)が5割以内、九州管内(熊本県を除く)が4割以内の補助になっていました。

▼湯前クラブには既に補助することを伝えていたため、1月臨時会で熊本県も対象にする要項改正を行い、補正予算で対応しました。

議案修正 ②

インターネット 生配信の負担金 取下げ

奥球磨ロードレース 大会実行委員会 協議

▼12月定例会で提案されたインターネット生配信の本町負担分30万円(3町村の総額100万円)を削除しました。

▼本件は協議会(実行委員会3町村)の合意がないこと、予算が検討不足であることなどの問題を議会が指摘しました。執行部内で答弁がかみ合わず議会が中断しました。

▼12月18日の実行委員会で協議した結果、生配信は来年度に先送りとなりました。

これまでの経緯

▼6月26日の総会以降、年度途中の新規案件であるにも関わらず、予算査定が不十分で、

本町議会にも説明がありませんでした。

▼11月に水上村からライブ配信の提案があり、実行委員会

を通さず、提案会社の見積価格がそのまま予算計上されていました。



今後ネット配信を検討する奥球磨ロードレース

入学用品補助の 前倒し支給

支援が必要な方が
対象

39万3000円

▼今回の前倒し支給は、法や文部科学省の通知を受けて、速やかに対応するものです。
▼学校教育法第19条で、「経済的理由で就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して、市町村は必要な援助を与えなければならない」とあります。
▼文部科学省は2017年3月、入学する年度の開始前に支給した援助金も国庫補助の対象にできるよう制度を改正。必要な援助が適切な時期に実施するよう通知を出し、支給時期の前倒しを呼び掛けています。

介護予防の公民分 館整備

新たに4地区の追加
要望

505万2000円

▼町では「いきいきクラブ」や「百歳体操」のための分館整備を行っています。本年度中の追加要望に回した上村、植木地区に加え、下城、下里地区の追加要望を行いました。
▼9月議会において14分館分の予算を可決しました。現在19分館が活動中です。
▼未実施が4地区あり、区長会などで代表者に案内しています。県からは平成31年度の要望調査も来ています。未実施の分館の見込みを概算で要望しています。
▼介護予防拠点として、空調施設、手すり、スロープ、自動血圧計など、平成30年度で整備する公民分館は次の18分館です。

本年度2度目の 職員採用試験

来年度の採用枠は4人

- 一般事務
- 社会福祉士
- 学芸員
- 保健師

平成29年度は一般採用枠で3人、平成30年度は社会人経験枠で2人を採用しています。

地方バス運行の 赤字補てん

高齢化社会への対応
が必要

735万8000円

▼本町に係る産交バス運行7路線の経常欠損額は、年間運行距離数から算出した金額を各自自治体で負担しています。

▼赤字補てん額は、10年以上連続で右肩上がり。本町の負担額は12年間で6000万円を超えます。

▼公共交通網の見直しで、来年度から一部の路線が廃止されます。(17ページ参照)

議 案	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	金子 光喜	高橋 一雄	黒木喜巳男	山下 力	倉本 豊	審議結果 (賛成：反対)
平成30年度(一般会計・特別会計)補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)
湯前町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)
馬返地区簡易給水施設設置事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)

○：賛成 ー：採決なし(議長は採決に加わりません)

一般質問と関連質問のW論戦本格化

YouTube 録画中継は6月運用に向け準備中

5人の議員が12月定例会で一般質問を行いました。前回試行した一般質問の市販ビデオカメラ撮影によるYouTube(ユーチューブ)録画中継は、来年度の本格運用に向けて検証し6月の本格運用に向けて準備します。9月定例会で湯前町議会規則を改正して本格導入した関連質問は、遠坂、椎葉、森山、味岡、高橋、黒木(喜)、山下の7議員が行いました。

関連質問とは? 執行機関に対する監査機能、政策提案機能を果たすため、一般質問議員の質問後に、他の議員から質問を補足するもの。一般質問を議場でひとりぼっちにしない効果的な取り組み。これは全国的にも事例は少なく、人吉球磨管内では初めての取り組みです。

ページ	質問者(登壇順)	質問項目	通算 質問回数※
9	高橋 一雄	①人口減少対策	9 (2)
10	味岡 恭	①公立多良木病院の構成町村長会議の定期開催	5 (2)
11	椎葉 弘樹	①町長 12 年間の政治姿勢	9 (2)
12	遠坂 道太	①学校教育	8 (2)
13	金子 光喜	①畑作の農業振興 ②町長在任3期の総括と今後のまちづくり	9 (1)
	森山 宏		2 (1)
	黒木 龍次		0 (0)
	黒木喜巳男		0 (1)
	山下 力		0 (2) (前議長)
	倉本 豊		2 (0) (議長)

※：数字は平成28年11月 新体制以降の一般質問回数(全9回)、括弧数字は平成30年9月以降の関連質問回数(全2回)

前回試行した 議会議画の中継

▼12月定例会で試行した YouTube(ユーチューブ)動画のQRコードです。
▼「住民に見える議会」「議会力・議員力の向上」を目指した取り組みです。
▼QRコードでアクセスできない方は、YouTubeで「湯前町議会」と検索してご覧ください。



高橋議員

金子議員

遠坂議員

椎葉議員

教えて議会

会期と会期延長

▼会期は議会運営委員会で協議し、議長が会議に諮って決定します。
▼12月定例会で会期を延長しました。地方自治法第102条および議会運営申し合わせ事項に基づき、会期終了日に期間と日数を議決します。
▼本町のように会期制を採用する議会では、議案や議会運営に問題がない限り、会期延長になることはありません。

議事を傍聴しませんか

議会傍聴は、受付で名前を書けば、どなたでも入場できます。議会傍聴により、執行部と議員の緊張感が高まり、質疑や答弁のレベル向上が期待できます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。



高橋 一雄 議員

問 人口減少対策に全力を 答 成果を長期的に検証

質問 平成22年の本町の人口が4375人、30年10月には3969人、406人減少している。人口減少対策の総合戦略があと1年残っているが、現状は。

課長 人口減少は全国的な状況だが、昨年、本町の社会動態(転入・転出)では、11人の増加、増加は県内では熊本市など6自治体だけ。分析したところ、30代以降、帰ってこられるパターンが多くなっている。アンケートでも、ずっと湯前町に住みたいという方が増えている。一方、自然動態(出生・死亡)では、年間50〜60人減少している。総合戦略では、仕事づくり、出生・子育て環境の整備に重点を置いているが、自然動態までは即効的な結果は出ていない。

質問 何も取り組まなければ、2040年には2246人に減少し、消滅可能性が高い自治体だとされている。人口減少対策にできうるだけの施策を実施することは、共通の認識になると考えるか。

町長 人口減少に対する対策

がとても重要であることは、議会の皆様、地域の皆様も同じであると考えている。

質問 国民健康保険では、子どもが1人増えると、国保税負担が増える。他の健康保険でも増額されるのか。

課長 社会保険などでは、1人増えるごとに保険料が増えることはない。

質問 本町の子育て支援は、近隣町村に後れを取っているが、均等割りの減免を子育て支援としてアピールできるのではないか。

町長 全国市長会などで国に要望されているが、高齢者も含めた国保の運営をどうするのかも重要と考える。

質問 本町で奨学金・入学準備金の貸付事業を行っていることを評価しているが、給付型にする自治体が増えていく。把握しているか。

課長 県内に給付型の制度を行っている自治体が5つある。

質問 熊本市でも若者への先行投資として給付型奨学金を始めることが市長のマニフェ

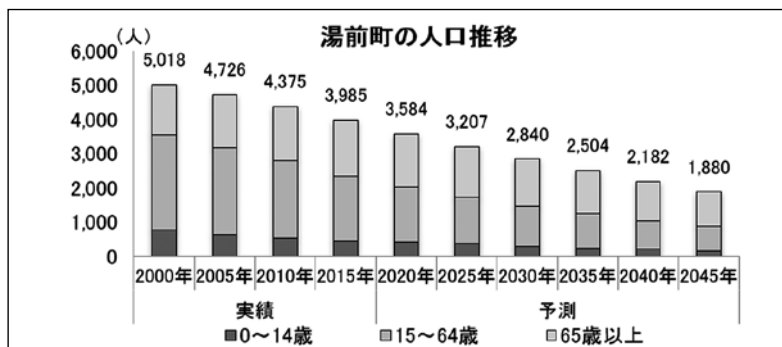
ストになっている。本町の人口を年齢ごとにグラフ化した人口ピラミッドでは、高校卒業後の20代が急激に減っており、このままでは30代、40代と減っていく。一度出て行った若者に帰ってもらうために考えていくべきではないか。

課長 県内でも何らかの支援をしている自治体を調査はしている。他の施策と合わせて相乗効果が出ると考えるので、関係部署と協議したい。

質問 教育委員会が小学校、中学校と協力して子どもたちの故郷に対する愛着や知見を広げる取り組みをしている。また、大学とも地域おこしなどで協力している。ところが高校生に対しては何をしているのか見えない。進学や就職のことでふるさとを忘れるのではないかと心配している。

町長 町村会などで、地元企業や学校に対して、高校生の就職・採用をお願いしているが、大都市の企業と比べると厳しいと聞いている。最近では、日本遺産の人吉球磨観光づくりの中で高校生が地元

の物産、遺産を活用して素晴らしい発表をするなど、高校の活動として取り組んでいただいている。



※人口ピラミッドは4ページを参照

問 構成町村長の定期的な会議を

答 その協議は当然必要



味岡 恭 議員

質問 病院は地域医療の重要な役割を果たしてきたが、病院を取り巻く環境は厳しい。過去を振り返り、現況をどのように捉えているのか。

町長 この地域にあつて重要な病院であり、診療の継続や経営の安定化が最重要課題ではないか。

質問 当病院は人口減少と医師不足の中で厳しい経営が見込まれる。構成町村で会議などを開催し、経営計画・経営環境の改善など意見交換をして会議内容などの提示を。

町長 開設者の協議会という立ち位置がはっきりしていない。自治体の長として病院の考え方や今後の対策・方向性を首長としてしっかりとめて示さなければならぬ。その協議は当然必要だし、内容はお伝えしなければならぬ。

質問 構成担当課も当病院の事務連絡ばかりでなく、課題や要望、意見交換の会議などを開催すべきでは。

課長 現在の当病院の経営状

況と改善に向けた取り組みの状況を、定期的に確認および共有する病院側と4カ町村の担当課長会との会議の開催を要望しているが、開催されていない。構成4カ町村会は当病院の将来にわたり責任を持つ地域住民の代表者で、病院の現状を理解し、地域住民のために当病院の今後を議論する場。一方、開設者協議会は、病院を経営する企業長が地方公営企業法で任された職務権限であり、企業団議会などに諮るため、町村長に提案説明がなされる場。

質問 健診センターの設備の老朽化などで健診者の確保が



施設整備の課題を抱える健診センター

進まない状況。今後の対策は。

課長 先日会議にて、健診センターの全面改築・移転を含め、地域の保健福祉あるいは地域包括ケアまで含めたところの健康増進など、どこまで病院の健診センターが取り組めるかを含めて、1つの検討課題が示された。

質問 人口減少・医師不足などで、数年後余剰金が枯渇し、町村の負担金が必要になるのでは。早めの協議を。

町長 病院の負担金は、交付税を外すと、患者数や職員数で様々な指数を重ねて負担割合が出ている。現行では人口の多い地域が大半を負担する仕組みになっており、各自自治体の負担では賄えないので、将来負担するとなれば事前に協議をしないと複雑になる。

質問 九州山脈に囲まれ動線が一本化したこの地域で、地震などの災害時に適切な医療ができるのか。人口減少・医師不足等が進むこの地域の最大の課題は。

町長 特別な高度医療や専門医療などは、この地域での完全な担保は難しい。緊急医療を含めた医療の体制・医療センターとの救急の連携など地域完結ができるような仕組みをどう構築していくかが大きな課題だと考える。

関連質問 椎葉議員 構成4カ町村で議論した内容を伝えることができない1番の課題は何か。

町長 会議をするのであれば、例えば事務局を設け取りまとめる手法が必要ではないか。

関連質問 山下議員 住民の医療福祉を大義に、未来永劫、赤字補填をしていくのか、運営体制を検討するのか。

町長 赤字を補填し続けることは病院の事業規模から考えると非常に難しい、運営方針なども大きな課題。先日の協議会で、企業長より3年後には黒字にと聞いたところ。当該の自治体という立場で継続的に早い時期に協議をしなければと考える。

問 まちづくり12年間の方針と課題が住民に見えていない

答 課題が多く対応が追いついていない



椎葉 弘樹 議員



政治姿勢を答弁する町長

質問 「活き活きと輝き、誇れる町」の将来イメージは、住民に十分伝わっているのか。

町長 具体的にどうなのか、各計画とどうリンクしているのか、皆様に届いてない部分もある。

質問 政策ごとのビジョンを出す用意はあるのか。

町長 計画の協議でビジョンを導き出さなければならぬ。

質問 第3セクター経営健全化や指定管理者制度の運用に係る指針を示さないのはなぜか。

町長 そこまでのレベルに達していない、そこまでの作業ができていない。

質問 補助金適正化の指針を示さないのはなぜか。

町長 それができているか、という端的な理由。

質問 人材育成基金やふるさと創生基金などを活用した積極的な人材投資をしないのはなぜか。

町長 その枠組みや準備ができていなかった。

質問 積極的な人材投資や産業投資がない中で、施政方針の産業施策は実現できたのか。

町長 その枠組みづくりも思うようにいかなかった。それを受けると人材も含めて、取り組みは 困難であった。

質問 ユビキタスの検証結果をいつ議会へ報告する予定か。

町長 ユビキタス事業は、次の展開につなげられなかったのが結論。改善に向けた取り組みも行ったが、その後の展開を図るには多額の予算が必要ということも含めて、平成27年度末で終了。時間をいただき報告させていただければ、完成に至らず申し訳なかった。

質問 補助事業の検証結果を議会へ説明し、住民へ情報公開しないのはなぜか。

町長 補助事業の報告は、確かに念頭になかったという思い。検証などは勉強させてい

ただきたい。

質問 行財政改革の計画と取り組み結果を議会へ説明し、住民へ情報公開すべきでは。

町長 計画の報告もあわせて勉強させていただきたい。

質問 町政推進プロジェクトの答申を受けて、住民や議会に答申内容や今後の対応を速やかに示さないのはなぜか。

町長 答申をそのまま課長会などで協議し、町の有識者にも協議をいただいているという流れでお示しするという認識。



質問 就職時にも結婚後も、職員や若者世代が本町に定住していただける若者定住施策を

積極的かつ継続的に取り組むべきでは。

町長 定住施策は、まったくそのとおり。

質問 議場で「検討する」と答弁した課題を先送りにしていないのはなぜか。

町長 課題解決に時間を要している。課題は、それぞれその事情によってということしかお答えできない。

質問 町の方向性を左右する大きな課題、住宅、空き家、漫画、ICT、歴史的風致、老朽化した公共施設など、議会と協議しないのはなぜか。

町長 議会の皆様と協議しない、遅くなっていることは、今後しっかりと対応しなければならぬ。

質問 町政を推進するため、二元代表制をもっと重視して対応すべきでは。

町長 住民を代表される議会の皆様とはしっかりと協議しなければならない。

質問 町長12年間の政治姿勢を振り返り、思い残すことはないか。

町長 それぞれの事業の成果がうまくいかないこともあり、課題も随分抱えている。

問 学校における保健・衛生指導は

答 保護者を交えた取組

質問 受動喫煙防止対策の実施状況は。

教育長 現在、小中学校は建物内での禁煙は措置してある。建物外での禁煙場所を設置している。学校における喫煙は、教職員、保護者、地域

住民の皆様方の理解のもとに児童・生徒への受動喫煙防止および喫煙防止教育を推進していく必要がある。

熊本県内の公立学校で実施している受動喫煙対策

	計(校)	学校敷地内は全面禁煙(%)	校舎内のみ禁煙	校舎内に喫煙所を設置
熊本県	611	79.8	14.1	7.5
湯前町	2	-	2 (校舎外に設置)	

(2017年5月1日時点 文部科学省調べ)

質問 感染症対策の実施状況は。

教育長 学校保健安全法施行規則に従いながら、学校でも、学校医、あるいは関係機関と連携をしながら、学校伝染病の防止、蔓延しないような対策を講じている。

問 児童・生徒の安全・安心は

答 予防に勝る対策はない

質問 交通安全・災害対策の実施状況は。

教育長 交通安全対策として、毎年、教職員を中心にそれぞれの地区担当で通学路の点検を行ったり、下校指導の中で地域住民の方からの情報や注意事項を子どもたちに指導したりしている。また、毎年の交通安全教室・自転車教室の実施や、町内業者の方の協力による自転車点検の実施など、交通安全対策には学校としても十分力を入れている。災害などの場合には、小中学校から保護者へ一斉にメールを配信し、子ども達の命を第一に考えた対応を連絡している。事故発生時の対応マニュアルの作成、地震火災避難訓練の実施など、すべての教育活動の中で子どもの命を守る安全教育に取り組んでいる。

質問 通学路の良好な安全確保を図るため、通学路の整備は。

課長 本年度も、歩道整備などの測量設計を現在行っており、学校線を工事着手予定。来年度以降も、順次計画に沿って進めたい。

問 学校における食育指導は

答 家庭教育での食育も大事

質問 食育の推進、学校給食の充実。

教育長 学校での食育は、給食時間を中心に、児童、生徒の望ましい食習慣の形成、自然の恩恵への感謝、食文化、食糧事情の理解を図ることなどに取り組んでいる。また、家庭での食育も子ども達の健康に非常に大きな影響を与えるため、学校だけの食育では不十分で、保護者の協力が必要である。

質問 管内町村の中には、米の現物補助を行っているが取り組みを考へは。

町長 現在その協議はしていない。

質問 給食費補助の取り組みは。

町長 教育委員会の意見などを聞きながら、今後の課題として取り組まなければならない。

問 鳥獣被害防止施策は

答 他市町村の施策を参考にしている

質問 アナグマ対策は。

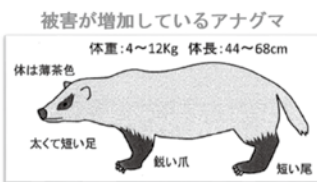
課長 対象としてない。計画変更の際に追加し、平成31年度より捕獲などの適用を考へている。

質問 防護網の効果は。

課長 被害は減少しているが、完璧とは言えない。

質問 設備資材、材料費の補助は考へているのか。

課長 他市町村の状況を把握し、他市町村の取り組みを参考に考へている。



(出典) 熊野生動物保護管理事務所



金子 光喜 議員



不耕作地の増加が目立つ畑地

問 畑地の荒廃対策は

答 農地8割を担い手に集める計画

質問 農地の中でもとりわけ畑地の荒廃が目立つ。耕作放棄地の現状や、鳥獣被害対策は。農業委員会事務局 畑地の場合、栗の栽培普及による耕作

放棄地の解消と、非農地判断による除外など3年間で約11haが減少した。平成30年は1.6ha。

課長 鳥獣被害対策で駆除した頭数は27年シカ549頭、イノシシ136頭、サル7頭、

カラス206羽。28年シカ365頭、イノシシ141頭、サル4頭、カラス135羽。29年シカ530頭、イノシシ185頭、サル18頭、カラス36羽。近頃は、アナグマの被害報告が多い。

質問 畑地の排水溝や横断溝の管理は、水田と違い中山間のような共同作業のシステムはない。現状かなり詰まっているが、排水機能を維持するために必要では。
課長 排水路の土砂上げなどは、必要だと思う。予算的な事もあるが、農林と建設水道課と連携してやっていくべきと考える。

質問 筆数も多く古い区画で十分な道もない未整備の農地が大部分を占める現状、町や農家全体で検討して対策を講じる必要があるのでは。
課長 耕作放棄地対策や鳥獣被害対策など、畑地全体の活用を地域の方々を中心に協議ができる場を作ることが大事であろうと思う。

問 町長在任3期の総括と今後のまちづくりは

答 3期12年を区切りと考へ、新しい次の町長に託したい

質問 鶴田町長の政治手腕や奮闘ぶりを議員として大きく評価している。地方の町村にとって難しい時代かもしれないが、4期目を目指す気持はあるのか。

町長 3期目の任期も残りわずかとなった。これまで議会の皆様、町民の皆様にお支えいただきながら町政執行に取り組んできた。厳しい現状の中、湯前町の存続発展を第一義に各担当職員と共に政策展開を図ってきたが、全てが満足とはいかなかった。

(中略)
すべての根幹に少子化の課題が横たわっている。そういった課題に対して職員力を十分に発揮できる環境を作りながら、計画立案とその実行に取り組みを加速させていかなければならないと思っている。そのようなことを心を受け止めながらも、3期12年を1つの区切りと考え、今後のまちづくりを新しい次の町長に舵取りを託したいと思ひ、来春の町長選挙には立候補しない決意をした。これまでの町民の皆様や議会の皆様のご指導やご支援に心から感謝申し上げるとともに、湯前町の限らない発展を願ひ答弁とする。

関連質問 黒木(喜)議員
町長の勇退の弁を聞いて大変驚き残念。各方面から高く評価されており、まだ若くもう一度踏ん張ってもらいたいと思ひがあるが健康に留意され、新たな人生を歩いていただきたい。本当にご苦労様でした。(答弁なし)

総務常任委員会

11月16日／12月13日

委員長	森山宏
副委員長	黒木龍次
委員	黒木喜巳男、高橋一雄、味岡恭

次の所管事務を調査しました。

- ◎町の財政状況
- ◎公共交通計画
(関連「高齢者等移動支援助成事業」
16 ページ参照)

厳しい財政状況続く

町の経常収支比率は平均を超える

- ▶平成 28 年度の経常収支比率（財政構造の弾力性を測定する指標）は 96.6%、平成 29 年度は 94% となり好転しましたが、全国平均 91%、県平均 89% よりも高く厳しい状況が続いています。
- ▶公共施設・社会インフラの整備など、投機的経費には長期の負債も伴うため、計画的に検討しなければなりません。
- ▶本町の財政状況を生活に例えると、1 人当たりの貯金は 49.5 万円、借金が 63 万円です。まちづくりは事業をしないと前進しないため、国に支援を求めて長寿命化計画や整備計画を進めています。

湯前町の経常収支比率の推移

年度	H25	H26	H27	H28	H29
比率(%)	88.0	93.9	93.5	96.6	94.0

※ 75%以下が望ましいといわれています。

経済建設常任委員会

11月3日／12月11日

委員長	遠坂道太
副委員長	黒木龍次
委員	山下力、味岡恭、椎葉弘樹

次の所管事務を調査しました。

- ◎熊本県畜産共進会
- ◎町有林の整備計画

町内の畜産業振興へ

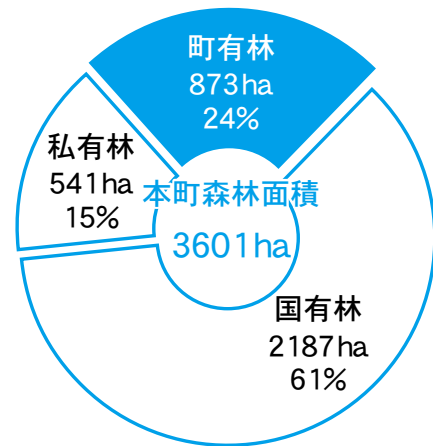
熊本県畜産共進会を視察

- ▶本町から肉用種牛(6部)に栗秋和弘さんが「やすふく5号」を出陳し、名誉賞5席に入賞しました。
- ▶熊本県畜産共進会は、県内の畜産組合から各部門名誉賞二席以上の牛が出陳し開催されています。

町有林は計画に基づき管理

湯前町有林管理計画

- ▶湯前町有林の整備は、平成 27 年度に策定した「湯前町有林管理計画書」に基づき実施しています。



- ▶民有林(私有林と町有林)1414ha の約 90% が人工林、そのうち約 80% 以上は伐期を迎えています。また、町有林 873ha の約 95% が人工林、そのうち約 80% が伐期を迎えています。
- ▶町有林の路網管理は、町有林の管理業務委託の中で管理します。私有林の路網管理は、来年度から入る森林環境譲与税を使って整備を検討します。所有者による山の管理も必要です。

議会だより調査特別委員会

1月7日／1月21日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	金子光喜
委員	森山宏、遠坂道太

初参加で初受賞

熊本県町村議会広報コンクール表彰式

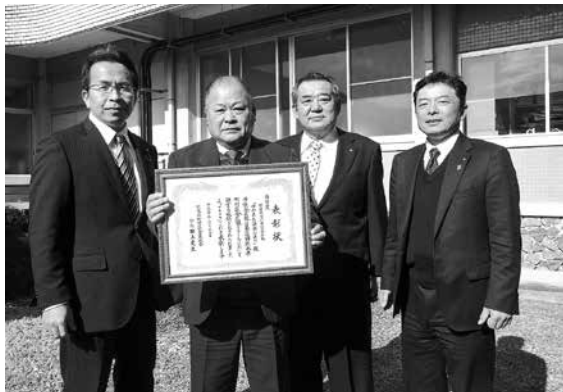
▶平成29年から参加している全国広報研修会や町広報担当者からの指導など、議会だよりの改革を進めた成果が県コンクールで評価されました。今回は県内30町村議会から応募がありました。

▶平成29年に議会改革の一環で議会だより調査特別委員会を立ち上げました。議会だよりの情報量は、2ページから始まり、平成29年11月号に12ページ、平成30年2月号に16ページと徐々に増やしています。

特選 大津町（前回到続き特選）

入選 南関町、西原村、多良木町

特別賞 湯前町、産山村、五木村



受賞した委員会メンバー

平成30年度 町村議会広報研修会

11月13日

グランメッセ熊本 2階コンベンションホール

講師：熊本日日新聞社

NIE専門委員

熊本大学客員教授

越地 真一郎氏

テーマ：今、脱皮の時！！

～新時代の議会広報へチャレンジ～

厚生文教常任委員会

12月11日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	高橋一雄
委員	金子光喜、森山宏、遠坂道太

次の所管事務を調査しました。

◎障がい児教育

障がい児への理解が大切

課題は地域で支え合う地域づくり

厚生文教常任委員会では2回にわたり、障がい者の現状を調査しました。

保護者への啓発

▶教育課は家庭教育講演会を年に1回開催。親の会もあり、同じ悩みを持つ保護者同士で情報を交換しています。

▶今年は120人を超える参加がありました。保護者以上に地域の方の参加が多く、本町の発達障害に関する認知度を深める良い機会になっています。



発達障害への理解を深める参加者たち

▶就学時健診において支援学級の話を保護者全員にしています。障がい者や知的情緒の保護者だけでなく、健常者の保護者にも理解を広めています。

今後の支援策

▶特別支援学級を知る方は少しずつ増えていますが、知らない方もいるため、町独自の支援策を今後検討していく必要があります。

▶気軽に相談できる窓口を作りたいという話が、福祉、教育課、小中学校の担当者会で出ています。資格を持つ方の必要性は常にあります。

▶スクールカウンセラーは他町村で取り合いになっており、すぐに対応できない状況です。

【ご紹介】湯前町あゆみの会(地内代表)

▶本町には障がい者への理解を深める住民ボランティアグループがあります。

▶同会では、知的・身体・障がい者とその家族、地域住民が心の絆を結びながら地域で支え合う活動を継続的に取り組まれています。

員 会
協 議 会

11月20日 / 12月6日 /
12月10日 / 1月9日 /
1月21日

増え続ける空き家

**協議会設置と
計画策定へ**

【企画観光課】

▼ 昨年の10月上旬から中旬にかけて区長に依頼し、平成26年度の空き家調査の追跡調査結果が報告されました。

▼ 今後、協議会の設置や空き家対策の計画策定などに取り組み予定です。

▼ 1人世帯、2人世帯の空き家予備軍の調査も計画策定の中で検討します。



本町
空き家バンク

**JTの森ゆのまえ
事業は継続**

来年度から第3期

【農林振興課】

▼ JTの森ゆのまえ事業は今年度末で2期目を終了し、3期目の協定が承認されたことが報告されました。調印式は11月22日に熊本県庁で行われました。

▼ 本事業は2009年(平成21年)から始まりました。生物と共生できる豊かな森づくりを目指し、町有林の植林や森林保全活動を行っています。



子ども達と森づくり



JTプレス
リリース

**湯愛学童クラブを
増設**

**放課後児童健全育成
事業の一時的措置**

【保健福祉課】

▼ 湯愛学童クラブの増設に関し、維持管理費の一部を町が支援するかを協議しました。

▼ 平成30年度から運営を始めた湯愛学童クラブは、定員65人で新設しました。

た。しかし平成30年度は既に計画値を上回り、今後5年間で定員を上回る需要があります。

▼ 社会福祉協議

会の理事会で協議し、来年度から一時的措置で30人定員のユニットハウスを増設することになりました。

▼ 年間リース料や人件費、運営費の増額見込み約100万円



校舎と学童クラブの間にユニットハウスを増設

を、町が支援する方向になりました。

▼ 小学校側からは、地震、火災などの災害時に、子どもたちが避難する通路を整備するという条件が付いています。消防署にも確認して、危機管理を前提に現在の施設とユニットハウスを隣接します。

**タクシーとバスの
利用助成を拡充**

**高齢者等移動支援助
成事業**

【保健福祉課】

▼ 現行のタクシー料金助成(500円×24枚)に加えて、産交バス料金やタクシー料金の増額を助成する拡充案を協議しました。

▼ 公立病院に行く場合、くま川鉄道では公立病院前駅から病院までの距離があるため、今回は産交バスを重視します。産交バスの再編にあたり、公立病院前までの運行に力を入れます。

▼ 障害者手帳で3級から6級をお持ちの方、もしくはB1、B2の方で免許を持たれていない方は検討課題です。

緊急性の高い改修あり

湯楽里・グリーンパレスの施設改修 2億円を超える大改修

【企画観光課】

▼湯楽里とグリーンパレスの施設が老朽化などにより改修が必要のため、改修計画を協議しました。

▼平成30年3月に湯楽里の中期経営方針が策定されました。その中で施設の整備や改修に向けて検討することになっていきます。

▼湯楽里の取締役会において、昨年9月頃から議題に上げて調査しています。10月半ばに町長・副町長の立ち会いで現地調査。取りまとめ結果が出たのは11月中旬。

▼取締役会では、管理協定のリスク分担、負担割合を確認しました。資本金の使い道も協議し、施設の改修計画は原則町でという意見がありました。また、今後お客様を増やす新しい展開に向けて知恵を出すようにとの意見がありました。

▼議会からは「湯楽里の資本



空調故障の客室と
経年劣化の蛍光灯



経年劣化で緊急対応を要する
温泉機械

金を今回投入するべき」「町の財政が厳しい中、もっと早く計画を立てるべきだった」「お金を借りて一気に行う方法もある」「改修が長引くとお客様に迷惑をかける」などの意見がありました。

ふるさと納税寄付 金の減少

今年度見込みは
約3000万円

【企画観光課】

▼平成30年度のふるさと納税寄附金額は、昨年度の8951万円から大きく減少することが報告されました。

▼寄付金額減少の主な要因は次のとおりです。

- 返礼品を3割に変更したことによる寄付者離れ
- Aコープ球磨産牛肉の掲載停止による機会損失
- 季節限定果物(ブドウ)の掲載次期の遅れによる機会損失
- さとふる掲載自治体数の増加による本町の埋もれ

▼ポータルサイトは現在「さとふる」1つしか登録していませんが、増やしても安定供給ができず、事業者側の体制が整っていません。

▼ふるさと納税は、財政が厳しい地方自治体にとって唯一稼げる仕組みです。本町の体

制は担当者が通常業務と兼任しており、お礼品の開拓が手薄になっています。地域おこし協力隊の追加募集など人的配置を拡大しないと厳しい状況です。

産交バスの 路線廃止

町の赤字補てん額は
約半分に

【企画観光課】

▼平成31年4月1日から古屋敷行きと西村経由の人吉行きが廃止されます。これにより、本町が負担する産交バスの赤字補てん額も約半分にになります。

▼路線の廃止に伴い、免許証の返納や体の不自由な高齢者の交通弱者対策が継続課題です。

教えて議会

全員協議会とは

▼本会議とは別に、協議や意見調整をしたり、議案の事前説明を受けたりします。開会中・閉会中に関わらず、必要に応じて開催します。「議員だけ」と「執行部と議員」の2つの型があります。

▼本会議中の全員協議会は、審議の調整が必要な場合に暫時休憩して協議します。本会議の機能を代替するものではないため、必要最小限にとどめます。また、本会議や委員会と同様の実質審議にならないよう節度をもって運用します。



議会の使い道と有効活用

小さな離島の大きな挑戦

球磨郡町村議会議員研修

10月4日

〈ゆのまえ温泉湯楽里〉

講師：長崎県

小値賀町議会議長

立石 隆教 氏

〈主な演題〉

- ◎議会版総合計画の策定
- ◎債権管理条例の制定
- ◎模擬公聴会の開催
- ◎議員報酬特別条例の制定

上球磨4町村議会の研修会が湯前町で開かれました。議会改革の講演内容に、本町議員も刺激を受けました。

本町議会の主な課題

- 議会基本条例の制定
- タブレット端末による議会運営の効率化
- “一般質問や質疑”直後の議員問討議



議会改革の刺激を受ける上球磨議員

- 首長（執行部）への政策提案
- 議会に対する住民意識の向上（議会だより、議会中継などの充実）
- 災害発生時の議会対応
- “議会中継録画や会議録おこし”の民間委託

湯前町議会では、議会改革で議員の資質や能力を高めるため、昨年度から議員個人を対象にした特別研修を設けています。議会を代表して参加し、研修成果を発表することが条件です。

議員	研修内容	成果発表
高橋 一雄	【研修内容】市町村議会特別セミナー [11月18日～20日] 【会場】大津市	済
山下 力	【研修内容】大学の先生ではわからない実践的な質問のしかた [11月1日～11月2日] 【会場】東京都	済
森山 宏	【研修内容】議員が知っておくべき財政の話 基礎編 [10月30日～11月1日] 【会場】東京都	済
遠坂 道太	【研修内容】質問方法スキルアップ初級編、質問方法スキルアップ応用編 [7月19日～20日] 【会場】福岡市	済
椎葉 弘樹	【研修内容】議会のあり方と長との関係 [7月23日～25日] 【会場】東京都	済

議員個人の特別研修

上球磨消防組合議会

上球磨消防署の建設状況

12月19日に庁舎建設特別委員会を開催し、現場視察を行いました。今のところ計画どおり進んでいます。



基礎工事中の上球磨消防署

湯前町の直近3年間データ

	H28	H29	H30
救急出動件数	219	185	184
救急搬送人員	205	176	169
火災件数	2	1	4

その他の情報

県内の消防広域化検討始まる

▶熊本県は1月15日、6消防本部(阿蘇、人吉下球磨、山鹿、上益城、上球磨、水俣芦北)を軸に、県内消防本部・消防局の広域化を検討する方針を明らかにしました。

▶2023年度の実現を目指し、新年度から市町村の組み合わせなどの議論を本格化させます。今年3月に策定予定の県消防力強化推進計画には、「県下1本部体制」を目指すことを盛り込みます。

〈上球磨消防議員 金子〉

人吉球磨広域行政組合議会

福寿荘民営化の協議

移譲法人の選定は8月

▶福寿荘の移譲法人は、選定委員会の意見を受けて理事会が最終決定します。建て替えを行う場合、湯前町内で土地を確保し建て替えることが公募条件になっています。移譲法人の公募は、来年6月～7月、選定が8月の予定です。

▶全員協議会で、福寿荘民営化実施計画と耐震改修支援事業の説明がありました。民営化実施計画の主な条件として、土地が原則「有償譲渡」、建物と付帯設備および備品が「無償譲渡」となっています。

▶福寿荘移譲法人選定委員会の設置条例における委員は、8人以内で任期1年と定められました。補正予算で、選定委員の報酬を可決しました。

▶福寿荘の耐震改修支援事業は、補助金内示額が2417万6000円、着工期間は3月から半年間の予定です。



民営化の準備が進む福寿荘

〈広域行政議員 黒木喜・椎葉〉



テーマを設定し、年4回にわたり住民の皆様から意見をいただきます。

テーマ

湯前町での子育て



下村区
桑原 やよいさん

○まず感想をお聞かせください

福岡から嫁いできて約15年になります。現在、4人の男の子を授かり、子育て・仕事・家事と大変ですが、充実した毎日を送っています。

湯前町の子育てで感じたことは、先生や地域の方々との距離が近いというか、関係が密接で、子育てに関する悩みなど親身の相談に乗っていただき、大変助かっています。

○お困りのことはありませんか

子ども一人での登下校が多く、事件・事故にあわないか、とても心配です。

また、下校後や夏休みなど、ほとんどの人が学童クラブに通っていて、一緒に遊ぶ友達がいないと、子どもが寂しがっています。

他には、子どもの数が減って仕方ないのですが、学校の部活動の選択肢が限られていることが、少し残念です。

テーマ

議会への提案

○お仕事の内容は

父が開業した司法書士事務所を、昭和62年に引き継ぎ、登記および供託の代理、裁判所や法務局に提出する書類の作成や提出などを行っています。

また、町の行政相談員として、行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなど、町民の皆さんの相談をお受けしています。



上里三区
右田 秀美さん

○ご提案はありますか

このような仕事をしていると、相続登記を始め、様々な手続きを放置していたために、問題が複雑化し、費用と手間が数倍に膨れ上がったケースをよく見かけます。

町民の皆さんがお困りになることですので、あえて申し上げますが、町の広報誌や旬報などを活用して、早めの手続きを促すよう、定期的な周知をお願いしたいと思います。

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111

編集後記

- ▶ 今回の議会だよりは、平成最後の発行となります。
- ▶ 年頭に震度6の地震が起き、「災」から新年が始まりましたが、新元号に向け猪突猛進したいところです。
- ▶ 本町議会は今年も多くの行事を控えています。議会活動を広く伝え、理解を得る、読みたくなる議会だよりにします。

▶ 町民の皆様には、陽ざしが弱い三寒四温の候を待ちつつご自愛ください。(森山)

◆議会だより調査特別委員会

私たちが編集しました。

委員長	椎葉 弘樹
副委員長	金子 光喜
委員	森山 宏
委員	遠坂 道太

